



Sėkmės (セクメース) は「幸運の」という意味

**Labas！ ラバス！国際交流員のアスタです。**

冬といえば、「雪」、「寒さ」、「暗さ」が思い浮かびますが、場所によって冬が違ったりします。八丈島の2回目の12月と1月は前回より寒く感じましたが、気温が0度までいかないことが八丈島の冬が暖かい方だと思います。私のよく知っているリトアニアの冬は、八丈島の冬より暗くて、寒いという特徴があります。その冬に育てられた私はリトアニアの冬ならではの楽しみがわかります。

リトアニアの冬は一日のうちだいたい17時間太陽が上らないままです。-15度以下の温度は外で自由にられない状況を作ります。その二つの影響で、家の中にいることが多いです。家でどうすればいいか、わからない時もありますが、私は外を見たり、暖かい飲み物を飲んだり、本を読んだり、家族とカードゲームをしたりするのが特に好きでした。どうしても家にいなければならないことは、逆に落ち着いていい、リラックスしていい雰囲気を与えてくれます。

しかし、ずっと家の生活だけだと、心が疲れます。ありがたいことにリトアニアの冬はイベントが多い時期でもあります！クリスマス、お正月、バレンタインは日本にもあるイベントですが、2月にある独立記念日とUžgavėnės (ウジュガベネス) はリトアニアの特別なイベントです。ウジュガベネスは広報はちじょう3月号、アスタのSėkmėsスパイス第1回でも紹介した、春を迎え入れるための行事です。

独立記念日については、リトアニアは中世欧州最大の帝国の一角を成していましたが、18世紀末に周辺国に分割されて世界地図から消えました。第一次世界大戦中、1918年2月16日にリトアニアは独立を宣言して、123年ぶりに独立国となりました。その日のことを「2月16日」と呼んでいます。家々の軒先には国旗が掛けられ、たくさんのイベントが行われ、リトアニアという国が現在も存在していることを祝います。

八丈島の冬にも、イルミネーションを飾る家があったり、リトアニアにない出初式、二十歳のつどいのような行事もあって楽しい雰囲気がありますね。冬の最後の2月も楽しく過ごしましょう！

**またね。IKI！**

■問い合わせ■ 企画財政課企画情報係 電話 2-1120

Astaの日記を更新  
しています。

ぜひ見てください！



国際交流員のページ